

本時のねらい

自然災害から命を守るために、自分にできる備えや行動について考える。

本時における 1 人 1 台端末の活用方法とそのねらい

- ・ 自分の考えを端末上にまとめることで、並び替えや色分けなどが簡単にでき、考えの整理がしやすい。
- ・ 他の意見を取り入れた調整や修正も簡単にできる。

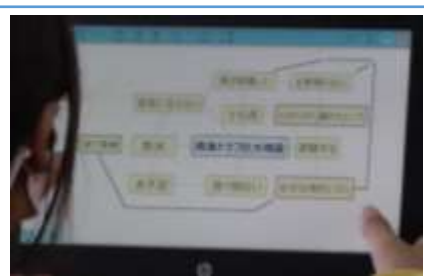
活用した ICT 機器・デジタル教材・コンテンツ等

- ・タブレット PC
- ・SKYMENU Class 「発表ノート」
- ・スクリーン
- ・プロジェクタ

本時の展開

学習の流れ	主な学習活動と内容	ICT 活用のポイント・工夫
導入 (10分)	<ul style="list-style-type: none"> ○本時のめあての確認 ・本時の学習の見通しを持つ。 	<ul style="list-style-type: none"> ・発表ノートのワークシートを事前に児童に配付しておく。
展開 (30分)	<p>めあて 「自分の命を守るためには、どうすればいいのだろう」</p> <ul style="list-style-type: none"> ○南海トラフ巨大地震を想定し、自分の命を守るためにはどうすればいいのかを考える。 ・自分ならどう行動するのかなどを具体的に考える。 ○自分にできる備えについて考える。 ・発生時に迅速に行動に移せるように、事前に備えておけることを考え、マッピングシートに記入。【写真1】 ○それぞれの考えをグループで交流する。【写真2】 ○自分の考えを再検討する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・スクリーンに児童と同じワークシート（発表ノート）を投影し、教師が実際に操作しながら活動の説明をする。 ・マッピング機能（発表ノート）を活用し、考えを広めさせる。 ・途中で数名の児童のワークシートをスクリーンに投影し、まとめ方の工夫を紹介することで、他の児童の活動を支援する。 ・端末の画面を見せ合いながらグループで交流し、他の児童の考えを参考にするように促す。 ・友だちの意見を聞いた後、発表ノート上で自分の考え（マッピングシート）の修正や追記をさせる。
まとめ (5分)	<ul style="list-style-type: none"> ○学習内容を振り返る ・ワークシートをもとに「自分の命をまもるためには・・・」に続く形で、文章にまとめる。【写真3】 	<ul style="list-style-type: none"> ・ワークシート（発表ノート）に本時のまとめを入力させ、各自の端末から教師の端末へと提出させる。

1 人 1 台端末を活用した活動の様子



【写真1】 発表ノートのマッピングシートに自分の考えを書き、考えを広めている場面



【写真2】 マッピングシートを見せ合いながら、グループで意見交流をしている場面



【写真3】 学習の振り返りをしている場面

児童生徒の反応や変容

- ・ タブレット PC を活用することで、ノートに情報や考えをまとめることが苦手な児童も意欲的に取り組むことができた。
- ・ 端末上では色分けや修正が簡単にできるため、友だちのまとめ方や考えを共有した後は、自分のワークシートに書き込んだ考えなどを、自ら修正、改善する児童の姿が見られた。

授業者の声～参考にしてほしいポイント～

- ・ タブレット PC を活用する強みである「レイアウトの変更や文字の修正が簡単にできる」「何度でもやり直せる」という点が、児童にとって安心して考え等を表現できる材料になっていると感じた。
- ・ 考えをまとめたり、文章を書いたりする際の手立て（支援ツール）として、ICT 機器の活用は効果的であると考えている。